

令和3年度 第7回湖西市水道事業経営方針検討会 議事要旨

1. 日 時：令和3年5月11日（火）13：30～16：00

2. 場 所：湖西市役所 3階委員会室（WEB開催）

3. 出席者

委員長)

愛知大学地域政策学部 教授： 菊地 裕幸 氏

委員)

豊橋技術科学大学大学院工学研究科建築・都市システム学系 教授： 井上 隆信 氏

公益社団法人日本水道協会調査部 主任調査役： 山本 晃嗣 氏

一般社団法人地方公会計研究センター 理事： 玉澤 一雄 氏

税理士法人ヤマダ会計 公認会計士： 新村 弥加 氏

事務局)

湖西市環境部水道課

株式会社東京設計事務所

4. 概 要

1) 委員長挨拶

2) 議事要旨

事務局から配布資料についての説明が行われた後、配布資料に対する意見交換を行った。主な内容は次のとおりである。委員から頂いた意見を踏まえ、パブリックコメントに向け最終調整を進めていくこととなった。最後に、事務局から次回開催について連絡し、閉会した。

委員名については敬称略とする。

①資料に対する質疑応答

1. 報告事項（水道料金収納業務共同化の取り組み）について

委員 広域連携を進めていただくのは良いが、従来の発注方式と新たな発注方式について、直営と比較して費用削減になっているのであればそれを明記してはどうか。また、「民間による高いサービスを利用者へ提供が可能」とあるが、直営であっても高い水準のサービスを提供できるという姿勢で臨んでいただければと思う。

事務局 直営と共同発注の費用比較は、現在精査中である。現況よりも若干費用が削減可能となる見通しである。また、直営については、湖西市は水道事業に人事権がなく、職員の異動があるという点から、人事異動等の影響の少ない民間の方が技術力は

安定していると考えている。ただし、直営であっても民間に負けない技術力を確保する方針で行きたいと考えている。

2. 前回までの振り返り及び今回の検討内容について

特にご意見はない。

3. 湖西市新水道ビジョン（素案）の確認について

1章～4章まで

委員 P1にある「第6次湖西市総合計画（令和3年4月）」とP2にある「新・湖西市総合計画（平成27年度見直し）」の関係はどうか。また、国の基本方針と静岡県と湖西市が同じように水道事業に関わっているように見えるが、湖西市が上位計画にあり、その横に県・国の方針があるのが正しいのではないか。

事務局 「新・湖西市総合計画」は「第6次湖西市総合計画」に修正させていただく。また、湖西市水道事業の上位に湖西市があり、その横に国・県の方針を示す形の模式図に修正させていただく。

委員 P30の施設の効率性の低下について、地区毎に給水原価を示しているが、市民の目線から、地区で差別化されるような表現をしないよう配慮していただきたい。

事務局 ご指摘を反映させていただく。

委員 P26のPIでは、法定耐用年数超過管路率が0%になっているが、P36の図4.4.1年度別資産取得状況では、法定耐用年数を超過している管路が存在している。数値の整合を確認していただきたい。また、広域化について、県と各市町村の状況についてご教示いただきたい。

事務局 PIは管路台帳上の数字で、図4.4.1はマッピングデータの数字である。確認し改めてご回答させていただく。また、広域化については、広域化プランを令和4年度までに策定することとなっている。県では、令和3年度から4年度にかけて各地域でのシミュレーションを行う予定となっている。用水供給事業が供給している区域をベースに圏域を設定しており、湖西市は浜松市、磐田市、袋井市、森町の4市1町のブロックでの検討を行う。市から経営状況等のデータを提供し、県でプランを検討する形と聞いている。詳細については判明し次第改めて次回検討会において報告させていただく。

委員 1点目に、P36 図4.4.1年度別資産取得状況について、いつの時点の資産額か記載いただきたい。2点目に、P13 原水の状況の3段落目「今年度」は具体的な年度を記載いただきたい。3点目に、P6 図3.2.1の「③スズキ（株）本社工場」は「③スズキ（株）湖西工場」ではないか。ご確認いただきたい。

事務局 1点目のP36については、現時点（現在価格）の資産である旨を追記させていただく。2点目の「今年度」は「2018年」に修正させていただく（2018年にまとまっ

た雨が降らず、2019年4月に貯水率が最低記録を達成)。3点目は「③スズキ(株)湖西工場」に修正させていただく。

委員 P23のPIについて、平均残留塩素濃度の数字について、0.39mg/Lは水質上問題ない数字という認識で良いか。

事務局 残留塩素濃度は、水道法での上限は定められていないものの、衛水第264号の快適水質項目では1.0mg/L以下にするよういわれている。水のおいしさ向上のため、残留塩素濃度は安全な範囲内で下げていきたい。湖西市の残留塩素濃度が高いような印象とならないよう、「水質上安全性を確保しているが、類似事業体平均よりも若干高いため、注入率を見直していく」というような表現に修正する。

委員 マッピングシステムと固定資産台帳で管路の数字が異なるという説明であったが、そのような指標は他にあるか。

事務局 施設は固定資産台帳の数値が基本であるが、管路については、台帳とマッピングシステムの両方の数字がある状態になっている。本ビジョンにおける管路データの扱いについては再度確認させていただく。

5章～7章まで

委員 財政見直しについて、内部留保資金の不足というのが感覚的にわかりづらいと感じる。内部留保資金を確保するために起債で補填した場合、企業債残高が増えていくことを示した方がわかりやすいのではないか。また、図7.6.1に段階的な料金改定を行った方が、利用者負担は小さいとあるが、市民負担はいつ料金改定しても変わらないのではないか。

事務局 内部留保資金については、収益的収支で赤字が出る場合は内部留保資金で補てんする方針であること、起債額にも上限があることを踏まえた上でのシミュレーションとしている。また、料金改定の利用者負担については「利用者負担が減る」ではなく「段階的な改定により負担の平準化が可能となる」というニュアンスで修正させていただく。なお、水需要は年々減少しているため、現時点で料金改定した方が、将来料金改定するよりも料金収入の確保額は高くなり、結果として改定率を抑えられる。そのようなことが理解できるように資料の表現を修正させていただく。

委員 P55の図6.4.1施設再編による費用削減効果は、現時点のシミュレーションであることと、今後の変動要因についても明記していただきたい。

事務局 ご指摘の通り補足説明を検討させていただく。

委員 1点目に、P45について、「休止井戸」と「廃止井戸」どちらかに文言を統一していただきたい。2点目に、施策に赤い枠がついているものと、そうでないものの違いは何か。3点目に、P71以降の財政シミュレーションについて、「資産減耗費による一時的な赤字」とあるが、一般市民に向けて何の減耗費なのか補足説明が必要である。4点目に、P66の更新基準年数表について、表7.3.4については法定耐用年数

が明示されていないため、法定耐用年数を明記していただきたい。5点目に、料金改定の話の中で、受益者負担をどこまで湖西市として求めていくのかがポイントとなる。将来的なビジョンをご教示いただきたい。

事務局 1点目の井戸については「廃止井戸」に統一する。2点目の赤枠は重要施策を示しているが、強靱と色がかぶっておりわかりにくいため表現を検討する。3点目の資産減耗費については、P64の試算条件に資産減耗費の説明を追記させていただく。4点目の管路の法定耐用年数は表に追記させていただく。5点目の受益者負担については、水道の普及がほぼ完了している中、原則として料金収入で賄っていく方針である。それでもなお事業が厳しい場合は、一般会計からの繰り入れ方針を検討する。これらの方向性は経営戦略のまとめの中にお示しする。

委員 P54について、施設を「削減」とあるが「統廃合」という表現にした方がよいのではないか。また、P60の豊橋市とのシェアードサービスについて示しているが、施策イメージに資材の共同購入についての連携方策について示されていないのではないか。

事務局 P54の「削減」は「統廃合」に修正させていただく。また、P60の広域化については、今後システムや資材の共同購入についても検討していく旨を追記させていただく。

委員 1点目に、P54について、施設を13施設から7施設に統廃合するとあるが、廃止される白須賀地区や入出地区等について、廃止しても配水に影響がない旨を明記した方がよい。2点目に、P76の料金改定の文言について、将来的に現状より48%高い供給単価となる旨が書かれているが、メディア等によって数字が独り歩きしないように考慮する必要があるとともに、市民負担に配慮し、引き上げの数字をもう少し抑えることはできないか。たとえば、P75の図7.5.1では将来推計で黒字が続いているが、これを収支が均衡するような形で改定率を下げる等、数字を抑える方向で検討していただきたい。3点目に、料金値上げは避けられない一方、各種施策を実行することで事業効率化を図り、値上げを極力抑制するよう努める旨を明記するべきではないか。

事務局 1点目のP54について、統廃合した地区についてのフォローは、有効水圧を確保した上のシミュレーションである旨を明記し、利用者の不安を払拭するような表記を検討する。2点目の料金改定については、数字の表記をすべきかどうかを含め検討させていただく。また、後半の黒字についてはもう少し改定率を抑えられないか再度シミュレーションで検討する。3点目については、十分な経費削減努力をしていく旨文言を追記させていただく。

委員 一般会計の繰り入れについて、水道事業は独立採算の原則である。

事務局 大前提としては独立採算制の原則に従う。一般会計の繰り入れはあくまで最終手段であり、強調するような書き方とはしないよう留意する。

8章～9章まで

- 委員 1点目に、表 8.1.2 で塩水化対策の強化の目標が「実績を把握」となっているが、水位低下を防ぐことが施策の趣旨であれば、「水位を低下させない」といった目標の方がよいのではないか。2点目に、直結給水の拡大について、2024年度までに実態調査、2029年度までに把握とあるがもっと早く実施するべきではないか。BCPのスケジュールは、直結給水よりももっと早く実施するべきではないか。3点目に、資金調達計画について、具体的な内容を明記すべきではないか。4点目に、P78に料金改定について「検討を進めていく」とあるが、いつ改定するのか明記されていない。改定するのであればそのように明記するべきではないか。料金改定のスケジュールも、世代間負担の公平化ということを踏まえもっと迅速に進めるべきではないか。
- 事務局 1点目の塩水化対策については、廃止井戸の塩水化物イオン濃度及び水位の観測を行いモニターしていく方針であることから、ご指摘のとおり、目標値は「水位の確保」に変更させていただく。2点目の直結給水の拡大とBCP策定のスケジュールについては、内部的な体制を踏まえた上でスケジュールの見直しをさせていただく。最後に料金改定については、より具体的な表現に変更させていただく。また、湖西市は長らく料金改定をしてこなかったことと、単純な値上げではなく、新たな料金体系の検討なども行っていくため、ある時間がかかる見通しである。スケジュールについては再度検討させていただく。
- 委員 将来水需要や投資・財政見通しの見直しは現時点で行っているため、2024年度に再度やる必要はないと考える。再度スケジュールを検討していただきたい。
- 委員 P82の進捗管理目標に示している施設台帳の電子化、マッピングシステムの見直しについては、今回の水道法改正で整備するよう言われているので、できる限り早めに整備していただきたい。
- 事務局 施設台帳・マッピングシステムについては、現時点においてもある程度のデータ整理はできている。今後管路のマッピングデータに施設のデータも追加する形でブラッシュアップしていきたいと考えている。現状で実装されているものについては明記した上で、より高度なシステムを構築していく旨を施策に明記させていただく。
- 委員 1点目に、P82の財政基盤の強化支出の削減方策について、方策の実施件数を目標とするのはイメージがわからない。目標の立て方と指標値から効果が見えにくいので、具体的な目標にすることはできないか。2点目に、スマートメーターの実装件数について、1,800戸は最大限整備可能な数なのか。1,800戸にした理由を含めご教示いただきたい。3点目に、料金改定については、「直近5年間で必要な費用を確保できない」ことを明記している以上、5年というサイクルは長すぎるように見えるため文言を検討いただきたい。

- 事務局 1点目の削減方策については、今後方策を検討していくものであるため、件数で示す形とした。具体的な数字を示せるか今後検討させていただく。2点目のスマートメーターについては、東京都では大規模な実装実験を計画しているが、その他の事業体は小規模であり、湖西市はこれらに比べると多い方である。ネックとなるのは、イニシャルコスト、ランニングコストである。湖西市では、市営住宅についても全てスマートメーター化を検討し、10年間で市内全域の約1割をスマートメーターに移行する目標としている。3点目の料金改定については、再度検討させていただく。
- 委員 削減方策の実施件数について、例えば豊橋市との共同事業についても1件と考えているのか。
- 事務局 豊橋市は既に検討を開始しているため、計上していない。動力費関係や有効利用について検討していきたいと考えている。
- 委員 スマートメーター事業で支出が増えるという話もあるため、具体的な削減率が設定できないか検討いただきたい。
- 委員 P81の表8.1.1について、実線と点線の違いは何か。また、料金改定については文言を配慮していただきたい。
- 事務局 実線と破線については、中間見直しで目標を見直すことを想定し、暫定の意味で破線としている。ロードマップの見方は再度検討させていただく。また、料金改定についても再度検討させていただく。

4. 今後のスケジュールについて

次回開催は7月12日であることを確認した。

②検討会に対する全体感想

- 委員 良い水道ビジョンが出来上がったと思う。今後ともよろしくお願ひしたい。
- 委員 全体を通して、図表との関連で触れていない部分があるため、説明文と図表との関係を明確にするよう考慮いただきたい。
- 委員 料金改定については、内部の問題もあるかと思うので、今後とも丁寧に作成いただきパブリックコメントに臨んでいただきたい。
- 委員 ポリウムもあり、ご苦労されたかと思う。
- 委員 事務局には本日委員の皆様から様々なご意見をいただいたので、これを反映していただきたい。今回の議論を基にした修正を踏まえ、パブリックコメントをかけていく段階となった。お忙しい中、丁寧にご議論をしていただき心より感謝申し上げたい。また、市民目線でのビジョンを作成いただいたと思う。次回はパブリックコメントを踏まえたものとなるので、引き続きよろしくお願ひしたい。

以上